



●歴史通信担当 大石よりみなさんへ。

塩田新潟県知事表敬訪問しました。

大きく優しいそうな目は西郷ドンをダブらせました。(2020・9・30)



○10月1日 クマモト発

新知事の塩田さんを囲んでいい写真ですね。

議会も始まっていよいよ真価が問われそうですが、何かこれまでと違ってやってくれそうな気がします。しっかりしていて、それで優しそうです。大いに期待しています。

中国語の弁論大会には驚きました。

もっとも、私には内容は一言も分からずチンプンカンプンですが、高校生が中国語をあれだけ話すということに圧倒されました。

こういう中から、第二の大石くんや竹下くんが生まれてくることを期待しましょう。

隣国で大国の中国とは日本はこれからしっかり友好を深めていかなければと思っています。

○永野和枝

塩田県知事が、西郷どんに、似ていると聞いたら、なをファンになりました♡ 今回の知事選で…前日になって(県庁出身)友人から tel ありビックリ!! 公務員畑の人は選挙はノータッチでは…OB だからか? あくる日 当選 ビックリでしたー!! 知事に最適人者だと 主人が国家公務員 国土交通の職員でしたから県は予算獲得に必死のよう

○中国語が随分と盛んなようですね。

外国語を学ぶことは、その文化や習慣を学ぶことでもあり非常に良いことだと思います。

しばらく、また松本清張にはまりそうです。昔読んだことは幸か不幸かほとんど忘れていて読み返してみても「ああ、そうだったな」と思う本ばかりです。

よく言えば、当時とはまたいくら違った視点で読んでいるのかもわかりませんが。

クマモト タツオ

○健全ことで はまるものが あることは良いことです

昔から 引退する人に これから好きな本でも読んですごしますという談話が多いです。

読んで忘れられる 読みながら 線を引かないメモを取らない、ということは娯楽小説でしょうでも ときどき 考えさせられることはあります。

本は読むときの年齢によって印象が異なるようですまた、新しい発見があるでしょう！！

○永野和枝より

テレビのサスペンス劇場、大好きなわたしです 松本清張のなど、すかさず、観ています^o^読書の方は2~3冊読んだかな？点と線などなど 現在夢中になっているもの(編み物)です...ゆっくりになったら、読書したいです？ 女性...89歳友人達と仲良くしています。三人の生き方拝見していると？趣味を持って楽しまれている人元気がありますね♡

清張ファンは多いようですね

以前一時、森村誠一を読みました

時間ができたら読み返してみたいものにトム・克蘭シーがあります

現代戦の知識が満載です。

森鷗外なども読みたい

寝る時間を削っても足りない時間には限りがありますができるだけ読みたい

書きたいこともたくさん残っています

すべて健康にかかっています tay young ! =====西山 和宏

○中秋の名月



○ニシヤマ発

月々に月き見る多けれど 月見る月は この月の月。

秀忠は関ヶ原遅参で凡庸のように言われていますが立派な2代目であったようですね。

江戸城にもいくつか立派な建物が残っています。

島津も工事に駆りだされ、丸に十の字を刻んだ石が処々に見られます。

下の画像:西山提供



○秋晴れ.名月と爽やかな日々ですがいかがお過ごしでしょうか？

肌持ちのいい日が来ると『日々これ(是)好日』という言葉が浮かんで来ます。
、僕の場合はひとり大陸の何処かをぶらぶらしてる姿を思い起こします。
元気なうちに今一度の想いは消えません。

○後見をしている 15 歳の若君が失態をしでかしたと思われたことを
とっさに吉兆に代えて、歌うとは、風流を解し教養の蓄積があったからであろう。
戦国時代の武将には、あまりそのような者はいなかった。
伝統的に、薩摩は武とともに文の伝統もあったのであろう。
それは、その後、読書という形で明治維新まで引き継がれたと思っています。

=====西山 和宏

○新聞を読んで私も疎開先での十五夜のことを思い出しました。

薩摩郡上東郷村(現在の薩摩川内市東郷町)の東郷小学校に入学して3年の11月頃鹿児島市に再び帰りました。
当時の村落では各家庭が藁を出し合って、小学校3年生以上の生徒が長老の指示で綱を練ったものです。
1 回だけの経験ですが、藁たたきに始まり、木の枝に綱をかけて練り上げていったような記憶があります。
相撲は一年生から痩せっぼの私は勝った記憶がありません。(笑)

桐野作人氏が歌った歌の逸話が紹介されていますが、島津豊久の出陣に絡むものだったとのこと。
その背景も説明されていますが、復習をすると、島津四兄弟(義久・義弘・歳久・家久)の末弟・家久は肥前大名・龍造寺隆信に苦しめられていた。

島原半島の有馬晴信(日野江城主)を助けるために島津家から援軍として派遣され息子・豊久と 3000 人の兵とともに島原半島に渡ったということです。これが島津氏の戦史に残る一つである「沖田騨の戦い」です。

義久は家老の島津忠長、新納忠元、伊集院忠棟、山田有信らとともに八代から島原半島へ向けて船団を派遣し、自身も佐敷に出陣しました。

対する龍造寺隆信も家老の鍋島直茂の制止も聞かず自ら出陣、有馬攻めのため25000の軍勢を率いて龍王崎から出航し翌日島原半島の北部の神代に上陸する。……島津軍の「釣り野伏」の構えにつかまった隆信軍は大混乱。ついには龍造寺軍は決定的な潰乱状態となり、隆信の側衆も次々と討たれ、ついには隆信も戦士を遂げてしまう。沖田騨から後方の平地に至るエリアには2000以上の死体が残されていたとのこと。

余談だが、新納忠元の名は大口の「忠元公園」として残り、鹿児島県有数の桜の名所として現在も春には満開の桜を求めて大賑わいである。

私も2回訪れたことがあるが、舞台が作られ踊りや歌があり、たくさんの屋台で賑わう。

2020年10月5日(月) 13:41 Kazu Nishiyama <mfikazu@tkg.att.ne.jp>:

○隈元 達雄 様 ほか、西山様、大石様、古市 様方へ。

「沖田騨の戦い」では、隈元様が書いておられるように、有馬氏の要請に基づき、島津家が応援に駆けつけていますが、肝心なのは、島津家でも島津家久親子を主体とする当時の佐土原衆が一軍〔(約3,000の兵力)〕で、相手の圧倒的に多い軍勢〔(約25,000)〕と戦い、勝利したということが得筆されます。

自分達より8倍も多い軍勢に対して、家久軍が、沖田騨の沼地に相手を誘い込み、大軍の動きを制御し、得意の「釣り野伏せ戦法」を縦横に使い、龍造寺本人はもとより、相手の武將をこと如く壊滅させて、戦いに勝利した事を強調したいと思います。

その時は、島津豊久は、15歳のまだ元服もしていない、初戦であり、やっと家久が承認しての参戦であり、家臣団に守られての「初陣」であったのです。

したがって、この「戦い」での、島津家久の執った「釣り野伏せ戦法」とはいか緻密で、大胆であり、この時のように、多勢の相手をいかに仕留めるか？を

家久は何度も何度も反芻しながら、事前に研鑽を行った事も、推し量ることができると思われます。

この「釣り野伏せ戦法」は、理屈はたやすいようであるが、戦いの現場での施行については、戦う集団の「堅い団結と緻密な計画、それに時期を判断する

一瞬の管理者の判断とそれに呼応する忠実な軍勢の正確な統率」があって、初めてこの施策が成功理に終わる事であって、古来、多くの「戦い」で執られた

戦法ですが、家久の独特なこの戦法ほど、緻密であり、その後の「戸次川の戦い」等でも成功を収めているほどに、彼が若い時から思慮を重ねながら、

十分に繰り返し研鑽を重ねた「今までにない釣り野伏せ」であったという事こそが、祖父の日新公に言わせた「家久の戦術の妙」という事に繋がると思われます。

豊久の初陣は確かですが、まだまだ、家久評価は低かったようです。

家久がこの「沖田騨の戦い」に参戦する時も、熊本から船出しているようですが、その時の船は、島原半島に到着後は、船は熊本に返して、後を絶つての「決死の戦い」と彼は認識していたようで、さらにこの「釣り野伏せ戦法」をいかに成功させるかが、彼の大きな、最大の試練の場であったということです。その後の「耳川や戸次川」などの戦いで、彼はこの戦法を縦横に使用して、以後の島津家のあわや、九州制覇を成し遂げるのではないかと

4 兄弟でも抜群な「戦績」をあげる基となった「釣り野伏せ戦法」であったのです。

この事を強調したく、ペンを走らせました。

それから、「十五夜の綱引き」について、隈元兄が疎開先で経験したとの事ですが、小生は終戦後、台湾から引き揚げてオヤジのふるさとの永吉での小学生からの生活でしたが、当地では、すぐ後ろに聳えている「愛宕山」(標高 89m の里山)の頂上付近には、当時「熊かずら」が密生しており、それを中学生以下の男子で取って、山の頂上で綱の芯としてその「かずら」で編み込み、その長くなった「綱」を皆んなで引っ張って下まで降ろして、さらに、自分たちで農家を回って集めた米藁で、そのクマカズラの芯に巻き付けて、大綱にして、十五夜の夜、道路を封鎖して、集落総出の「綱引き大会」をやって、その綱引きが終わると、その大綱でぐるりと「土俵」の枠を作り、子供の相撲大会となりました。藁貫いに農家を回った時、少々の寄付金もいただき、それで相撲大会の賞品〔鉛筆、ノートなど〕を購入したものでした。少年時代の懐かしい秋の「十五夜」の月明かりの下で行っていた「恒例行事」でした。

現在は、子供も数も減少して、永吉地区公民館の運動場で、小学校運動会で使っているロープの「綱」で、十五夜の

時、「綱引き大会」と女の子も参加しての「相撲大会」も実施しています。我々の時代、自分たちでの「手作りの綱」で綱引きや相撲大会、ほんとに、懐かしい想い出のヒトコマです。

2020, 10, 6、 本田 哲郎

○10月7日大石

予習します。

西都原古墳は特集が貴兄にお貸ししたあの霧島ファイルの中にあっただような気がします。

http://www2.lib.pref.miyazaki.lg.jp/?action=common_download_main&upload_id=2405

○クマタツアンサー

初めて知ることでの予習と、家久・豊久親子の歴史を通じての復習になりました。

これほどまでにまとめて親子のことを知るのは初めてです。

家久の曲者ぶりなど人物像も初めて知ることができて佐土原の地を訪ねるのが一層たのしくなりますね。

そうそう、大石くんの資料も借りっぱなしで申し訳ありません。

「西都原古墳」や「庄内の乱」(庄内合戦と都城の人々は呼ぶらしいですね)のことなど今朝から読み返しました。

街に行く用事もあるので、今日か明日の午後にでも事務所に届けます。留守でも構いません。

大石くんも読み返してください。

ブログのコメント欄に書き込みが、2, 3増えました。 クマモト タツオ

○ところで、先だっの小生の「返信」の最後に、東京から「大辻石塔群」などの当地の島津家以前に統治していた(西暦 1200 年ごろから 330 年の 10 代にわたって当地周辺(日置南郷——へきなんごうと読む)桑羽田家一族の墓と思われる「大辻石塔群」(お三方をご案内しました)等を中心に、行きたいと)と事で、桑波田家一族の末裔と言われる奥様とその息子さんが東京から、同時に鹿児島市伊敷地区にお住まいの奥様に妹様の 3 人が見えました。

大辻石塔群は勿論、そこ近くにある、最近我々が整備に掛かりつつある「愛宝寺跡」などや桑波田一族ゆかり南郷城址(大手門の駐車や城址後部のあの深い「空堀」、六地藏塔などのほかに島津家墓地群の「天昌寺跡」なども、ご案内しました。

その後、本年 4 月に地元の南日本新聞に初めて掲載された伊集院・野田地区にある桑波田一族の「史跡？」と思われる「塔の原」にも案内する予定でしたが、ちょうど毎月 1 日に、蒲生地区に住んでおられる

桑波田一族の末裔である旧知の「本司氏」も同時にその東京からの来訪者と同時に当地に来てくれましたので、彼が蒲生への帰途に、東京からの方々を案内してくれるということで、吉利地区の南郷城址の空堀近くで皆様とお別れしたのです。

その時東京からの来訪者の宮本様から、永吉南郷会の皆様が、ボランティアで大辻石塔群や南郷城址などの清掃管理なども続けておられることを聞いており、特に、今回も彼女の父親や母親はが常に、大辻石塔群にも参りたいと言っていたのに、その遺志も実現できずにいましたが、母が今年8月に亡くなって、親族の間で、今後の家系図や祖先の調査などを自分が調べることになって、今回の「訪問」となったということです。

皆様とお別れする時に、「ついては、ほんとにこれらの遺跡などを顕彰・清掃などをやっていただいている皆様にせめてと思ひまして」と、「封筒」を渡されました。

今までも、ことある毎に、永吉島津家からは天昌寺跡、梅天寺跡などの維持管理に勤めてくれていることで、「寸志」としていただき、それを清掃日などのお茶の費用(ペットボトル、パンな)の購入資金にしていましたので、部厚い封筒でしたが、「買い物券などが包になっているのかな?」と思って、その時は、ありがたく頂戴しまして、吉利地区で、来訪者の方々とわかれしました。

その足で、自分は今は「顧問」の立場であり、すぐ近くに小生が会長時代の副会長であり、今も会計担当である役員宅へ向かう前に、一応、封筒の中身を確認してからと思い、封筒を開けました。

そこには、なんと、現金で百万円の札束が入っていました。ビックリ仰天です。今までいただいた「島津家などからの」寄付金などと比べて、約1週間前から電話連絡などで、いろいろ来訪についてご案内先などや時刻等を打ち合わせていましたが、お会いしたのは、その日が初めてであり、いくら何でも百万円の大金を直接いただけるなんて、これは「まずい」と思い、早速、「良く理由を伺いたい」と思い、携帯に連絡を執りましたが、電話が通じずに、最後の見学地の伊集院の「塔の原」に行き、そこまで追いかけて行き、確かめる事にしたいと車を走らせました。

その後、塔の原の遺跡に到着しましたが、彼ら一行は既になくて、その後には、電話が通じて、話ができました。ただ、その時はもう夕暮れであり、鹿児島市への道程であることで、同乗の妹さんも、夕餉の支度があるので、こちらとまたどこかで会うこともできないことでした。

彼女がおっしゃるには、父の名前も「桑波田影清」という氏名であり、桑波田一族の直系であることを誇りにして、永吉の事はことさら、重要視していて、かねてから、「一度は訪れたい」との希望を持ち続けている事で、大辻石塔群の事

を感謝していたとの事で、このような「寸志」を用意しましたので、是非、受け取ってもほしいと要請されました。

小生としては、はじめて会った方から、このような大金をそのままいただく事は、どうも合点が行かない事でしたが、このような事もあるものかな?と、その夜、早速副会長宅の赴き、経緯を話して「現金」も渡しました。

会長にも報告して、会長名で御礼状を出すように要請しました。

ほんとに、びっくりしたことはありません。

余計なことをクドクド綴りましたが、ほんとに「ビックリ仰天」の出来事でした。

先日のゴルフが雨上がりの翌日であり、乗用カートがフェアウェイに入れず、カート道走行のみでありましたので、歩く距離が一日中にすると長くなって、ステックを杖代わりにやっとラウンドできましたが、その日以降、歩くことやイスから立ち上げる時など、「腰部」に激痛が走るようになって、何とかクルマは運転台に座れば、運転はできますが、家の中でも「杖」を尽きながらの「歩行」がやっとできる具合であり、この先、不安です。

月曜日には、小生を執刀した医師が今は、伊佐市の病院ですので、予約の電話を入れて、診察に伺う予定です。

どうなりますやら、このような状態が続き、歩けなくなれば、死んだも同然の生き方しかできないかも知れません。なんとか、少なくとも、杖を頼りでも「歩けるようになりたいたいです。

長々と述べました。 ご判読下さい。

20320, 10, 4,

本田 哲郎

○大石、隈元、森、永野 各位

表件ですが、下記の通り、セットの案を作りました。

記

実施日 10/24~10/25

第一日目 10/24(土) 佐土原方面 (各位 JR 宮崎駅着後 揃って「中間カー」で向かう。

佐土原城跡巡り 佐土原鶴翔松館 → 史跡探訪

西都原古墳群巡り 西都原考古博物館 → 古墳探訪

終えて 宮崎駅東口の リッチモンドホテル 宿泊のためチェックイン(17時予定)

宿泊の概要 部屋 シングル5室朝食付きキープ済

代金 6,700-+1,300-(朝食)=8,000-・・・Go To トラベルクーポン利用で5,200-(朝食込み)
食事 宮崎駅西口の 八九 で夕食 (17:30~)

第二日目 10/25(日) 都城方面 (当初の青島方面を止めて変更、各位ホテルをチェックアウトし 揃って「中間カー」で向かう)

都城巡り 島津邸 → 庄内の乱 ゆかりの地

終えて JR 都城駅で鹿児島組と別れる

以上のプランの是非について、ご意見をください。 ヨロシク!

中間

○中間さん!

都城島津邸コースに入れていただき感謝します。

GO to トラベル利用まで配慮いただきさらに感謝!

○隈元くん、森くん、

日豊本線(JR)は割引ないのでしょう。

チケット購入は当日ですか?

行く前にミーティングしますか?天文館か森邸でも。

○日豊本線 中央駅~宮崎駅

私が短い時間で見つけたのは「九州ネット切符」です。

これは片道 2620 円です。但し、帰りに都城に途中下車はできない切符なので 4310 円になります。合計で約 7000 円で往復できることになります。

他にもまだあるかもわかりませんので、私も調べますが、皆さんも調べてみてください。

GO TO トラベルも手続きがあるでしょうから調べる必要があります。

一回会いましょう。 クマモト

○中間さん、お世話になります^o^

Go TO トラベルが、利用できさすですがですね。

交通費も安くなるように、考えてくださり、うれしいです。八期の男性とでもたよりがいがあります。

実施日...10月24日~25日 決定ですね

大石。隈元。森さん

10月17日がミイテングするのに、最適なのにわがままして御免なさい♡三人できめてください♡後日大石さんのお店に聞きに行きます。

いよいよ歴史探訪宮崎編 実行することになりワクワク ドキドキして来ました!!

ヨロシクお願いします😊 永野和枝

○森発

鹿児島中央駅発と都城駅発の JR の適当な時間と運賃を調べてみました。

往路:中央駅発 7:37――鹿駅発 7:42――宮崎駅着 9:59(自由席 3780 円)

復路:都城駅発 17:09――鹿駅着 18:26――中央駅着 18:31(自由席 2340 円)

○大石です。JR時刻は17日の川越宗一講演会のあと三人で話し合いましょう?

往路はこれで決まりと思いますが、帰りがこれか?後1時間くらい遅くか?

これくらいがいいのかもしれませんがね。

○森くん

JRの時間、チケットの件ありがとうございました。

森くんの時間と私の調べた最安値と組み合わせて4人分のチケットをゲットしようと思いますがよろしいでしょうか。

下記のようになります。九州ネット切符使用

10月24日(土) 鹿児島中央駅7:37発~鹿児島駅7:42~宮崎駅着9:59 特急指定席
2620円

10月25日(日) 都城駅発17:9~鹿児島駅18:26~鹿児島中央駅着18:31 特急指定席
1990円

それぞれ返事をお聞かせください。

皆さんがOKであれば、私の方で一括予約して代金も立て替えます。(何かが間違っていて買えなかったらゴメンなさい) クマモト タツオ

○10月5日

メインは西都原考古博物館見学して佐土原にある家久、豊久の城跡と関連する歴史資料館見学する。当時あった佐土原の港を見たい(当日に想いを馳せる)。その為ホテルに帰るのが遅くなくても、もちろん夕食が遅くなくても構わない。佐土原は二度と訪れないと思うので。翌日の都城は都城島津邸と庄内の乱を記憶に残したい場所(隈元くんにお任せ)に行きたいね。

行く列車の中から佐土原に住む大平くんに電話してもし会えるようならちょっと会うか宮崎駅八九で会えたら最高だけど。

今書いた希望は無理ならどれもキャンセルしても構わないです。

2020年10月5日(月) 15:02 隈元達雄 <takumamoto2@gmail.com>:

了解です。そうしましょう。

現在、改めて行く先々の史跡を再検討中です。いい案があれば教えてください。

○10月6日残念!

大平くん(佐土原在住)に携帯・固定両電話したけど「現在使われていません」のアナウンスが返って来ました。

もう思えば1年以上かけていなかった...元気な声が返って来たものです。もう連絡のとりようがありません。佐土原の地でお別れしようと思います。

○2020年10月5日(月) 17:43 中間一範 <nakama-at14@k7.dion.ne.jp>:

大石、隈元、森、永野 各位

宮崎巡り、中身が濃くなっているようですね。

西都原へ先に行ってから、佐土原ですね。

なお、宮崎管内の中間カーの利用料は、いただきません。

最初からそのつもりです。無し(0-計上)でお願いします。

○クマモト発

太平くんのこと

良くないことがあったとは思いたくないが、そうなのでしょう。

固定電話も無くなっているということは、ご家族も引越してもされたのでしょうかね。

そうであれば、寂しい話です。

○マーコより

今夜は残念でしたね あの鶴坊を見るのを 楽しみにしてましたのに 昨夜は西田君の情報をありがとー!! ございました
彼も しっかり仕事していて 先生も 喜んでいることでしょう!! いつもありがとうございます\(^_^)/

○大石発

どういたしまして。

それにしても、というかおかげ様で台風のために懐かしい館山付近の海からの画像がテレビ放映されますネ。

マーコはいつも館山住んでいるのですか？それとも江戸川？羨ましい隠居生活してますネ。

○昨夜は雨で 裏の滝が凄い流れです！ 土曜時代劇 楽しみにしてましたのに 残念でしたね あの子ども
鶴坊というのだそうです 名優だと 鶴田さんもいってました\(^_^)/ 西田君の情報 ありがとうございます
いきました!! 彼もしっかり仕事していて 先生も喜んでいることでしょう ありがとうございます
私は コロナで 恐くて た館山です

○大石発 見ました。もう反応がありましたね。

兄も喜ぶかも、教えてあげます。有難うございました。

。ところで、佐土原には港はないのですか？

僕は分や大阪辺りから明治維新の頃まで南九州への海路は佐土原港があったのかと思っていましたが、
地図を見てもありそうにないです。今の宮崎港なのかな？それとも、佐土原の入り江の川口辺り？

日南市や日向市には港がありますけど佐土原には？？？

○ 素材が良かったので、久しぶりに面白いブログを書く事ができました。

こちらこそ感謝です。

たくさんコメントが来て、お兄さんの更なる励みにもなればいいのですが・・・。

最近昔のプロ友も途中で書く事を放棄した人が多く、コメント数も少なくなってきました。

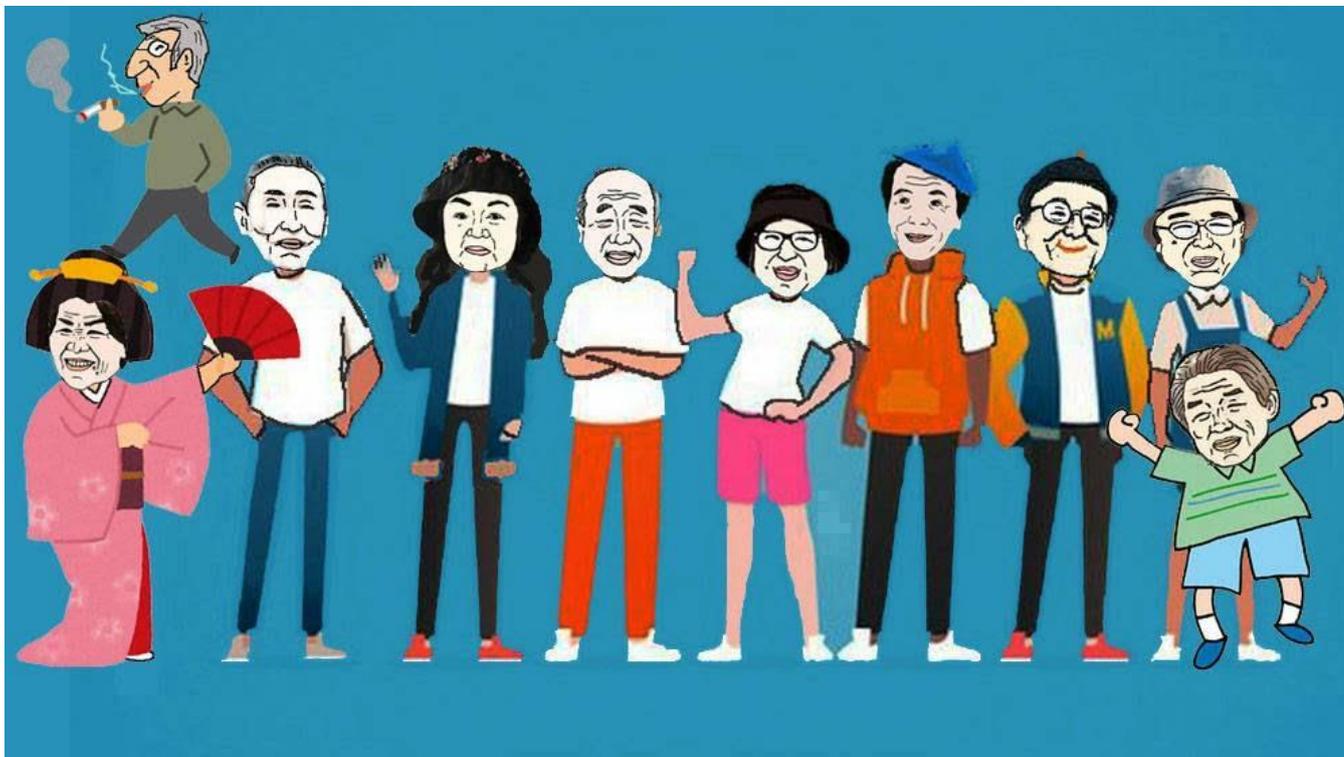
○クマモト発 下のイラスト参照：

ほんとにこれはいいわ！服装も若作りだし、八期の仲間の顔も一段と冴えています。

今日のブログには写真も何もないものだったので、すぐ追加で使わせてもらいます。

○ 佐土原の港・河口のことですが、少し調べてみましたが、ヒットしません。

読み物を読むと出て来るかまわかりませんが。まだ時間があるので、調べましょう。



○大石さん

こんにちは

鹿児島は 浄土真宗門徒が多かったようですね。

自分の家は 浄土宗で 易居町 不断明院 だったと記憶しています。

玉龍山 福昌寺 も記事にあり、懐かしく 思いました。

顔を 横にしながら 読みました。

また、暑さ 戻ってきて 昼間 真夏日になっています。

身体の調整が 難しい コロナ感染 注意しながら そろそろ インフルエンザ 予防注射の時期となりました。いろいろ と 気を使いながら 過ごしております。

木場 祥雄

○大石さんこんにちは

豆知識 メール 受け取りました。

体を 横にし 読みました。

鹿児島 浄土真宗門徒さんが 多かったようですね。

私の家は 浄土宗 易居町の 不断光明院 だったように記憶しています。

西本願寺、東本願寺 大きかったですね。

暑さも 戻ってきた感じで 真夏日となっております。

体調管理が難しいです。 コロナウイルスにも気を使い、 そろそろ インフルエンザの季節入り 予防注射 高齢者は いろいろと 気遣い多い毎日を 過ごしています。

では 又 情報連絡 御礼まで

木場 祥雄

○今更ながらですが、鹿児島のこと知らないことばかりだということをつくづく思う今日この頃です。

古地図によると、裁判所や県庁が中央公園にあり、市役所も現在で言えば「支所」みたいに狭い場所で事足りたのでしょ
うね。 クマモト発

○先のメールに福昌寺の絵図を付けましたが見えないかもしれません。



福昌寺（「薩藩沿革地図」）

再度、このメールに貼り付けますが見えないかもしれません。

そのときは、ご容赦ください。

○10月13日

ご存知かもしれませんが 応永元年（1394年）、島津元久は、玉龍高校の辺りの長谷場（はせば）と呼ばれていた地域を長谷場氏から譲り受け菩提寺を建立することにしました。

住職になった石屋真梁（せきやしんりょう）は文殊菩薩から授けられた福と玉の2字に因んで玉龍山福昌寺と名付けました。 創立五十周年記念別誌鹿児島上町の歴史と文化 より



○「玉龍山福昌寺」という名称由来も知りませんでした。カツっ！

私の手許に昨日届いた本があります。

第3の故郷・長崎の本です。「古地図で楽しむ長崎」です。

まだ20数ページしか読んでいませんが、長崎ファンには面白い本です。

そのうちブログにでも取り上げるかもわかりません。 クマモト タツオ

○何回見ても稲荷川周辺図は見入ってしまいます。魔法をかけて降り立ってみたいものです。大石

○10月19日 週末の『佐土原・都城島津歴史旅』のやり取りです。

○大石、隈元、森、永野各位(最終版)

大石さん 先ほどは、わざわざTELを頂戴しありがとうございます。

宮崎巡り 全同行に難が生じて申し訳ありません。深くお詫びします。

当日、皆さんJR宮崎駅到着時には、東口(進行方向右側)の駐車エリアでお迎えして 中間カーにてホテル経由(荷物を預ける場合)で一路佐土原へ向かい「鶴松館」に降車してもらい 以降中間カーとは別れて夕刻の食事も参加しないことと確認しました。ご了承ください。

皆さんご無事で佐土原城跡巡りが成りますよう念じております。

{佐土原のバス停は 交流センターからJR宮崎西口行きで 発時刻は 16:27 17:17 18:17 19:02 です 念のため}

○森です 西都城駅の近くに歴史民俗資料館のある城跡があるようなのでまずここから訪問でしょうね。2020年10月20日(火) 20:01 森繁 <kojmori1226@gmail.com>:

○宮崎市から都城へ来るときは西都城駅で降りると島津屋敷に近いらしい。タクシーで7分位かかるそうです

○大石です。先ほどは突然の電話で申し訳ありません。おかげで、中間くんの元気な声を聞いて嬉しかったです。

電話の確認事項をメールでと思っていたら早々に貴兄から「僕から出そうと思っていたのと同じ内容が」届きました。

他の仲間にも僕から説明しなくて済む内容なので助かりました。

(佐土原と都城と戦国島津)を現地に立って触れる(偲ぶ)スケジュールだと思います。欲張らず、じっくり学ぶ2日間になりたいと思います。

○明日標記の講演会への参加を予定していますが、午前中9時から市主催の第9回すこやか長寿祭りが天文館公園で開催され長田町老人クラブから5名選抜されて「薩摩の歴史探訪ウオーラリー」に参加することになりました。

予定では13時までとなっていますが講演会には若干遅れて参加することになるかもしれませんので前もってお知らせしておきます。なお、雨天の場合は日曜日に延期となっています。状況については随時大石君へラインで連絡いたしたいと思います。

○森くんも忙しい毎日ですね。

とりあえず隈元さんと二人で入っていますネ。席は取れないかも知れませんが悪しからず。多分さほど混まないとは思いますが、帰り会いましょう。出口付近で。 大石

○クマモト発 了解です。

頑張って歩いてください。

もし会えない場合にはJRチケットは大石くんに預けておきます。

月曜以外の都合のいい日に大石くんの事務所まで取りにいらしてください。

クマモト

○森くんの言うとおりで。

私は前に行った時に行き当たりばつりの旅だったので、都城駅で降りてバスとタクシーを乗り継いで都城島津邸に行きました。

帰りは少し歩きましたが、西都城駅まで行ってそこから乗りました。

調べてみましたが、宮崎駅発の「きりしま」も西都城駅に停車します。

そのあと、都之城跡にある歴史民俗資料館に行きましょう。

だんだん、都城での行程も決まってきましたね。 クマモト

○「天地に燦たり」の作家・川越宗一氏の講演会に3人で行って来ました。 大石

○

○作家など文化人の講演会への出席は非常にいいものです
寄席とともに楽しみでした
三人でお出かけというのが、これまた結構ですね
三人寄れば文殊の知恵、それとも三匹のサムライ。

=====西山 和宏

○隈元 発

昨日は面白かったですね。
コロナ禍でどこにも行けない、ましてや3密の講演会などはもってほかと思っていたのですが、昨日みたいな形であれば安全だと思うことでした。
どんどん出かけないといけませんね。
例によって講演会のことをブログに支離滅裂に書いてみました。ご笑覧ください。
クマモト

<https://plaza.rakuten.co.jp/kumatake123/>

○佳き時間を過ごされ羨ましい限りです

海音寺潮五郎については、鹿児島出身の作家ではなく、文豪としてはいかがでしょうか？

海音寺潮五郎は、歴史小説について脚色はよいが史実を変えることには、よしとしていなかったように思いますが何？=====株式会社エムエフアイ 西山 和宏

○そうですね。私は海音寺潮五郎作品は西郷や大久保関連と「武将列伝(江戸編)」くらいしか読んでいないのでいろいろ言える立場ではありません。

ただ、「武将列伝」の「解説に代えて」をあの司馬遼太郎が書いているのですが、その中に「私はかねて露伴に関心があるが、かならずしもその史伝小説(『頼朝』『平将門』『為朝』『蒲生氏郷』『武田信玄』など)に、海音寺氏の史伝ほどの驚きを感じることにはできない」と書いています。

そのことは、西山さんの言葉のとおり史実を変えることはなかったという大きな証でしょう。

地の言葉 文化の象徴
海音寺潮五郎記念講演会
直木賞・川越さん語る

海音寺潮五郎記念文化講演会が17日、鹿児島市のかしま県民交流センターであり、錦江町生まれの直木賞作家、川越宗一さんが「わたしの歴史小説の世界」と題して話した。

川越さんは2018年、島津家重臣・樺山久高を中心に朝鮮出兵と琉球侵攻を書いた「天地に燦たり」で松本清張賞を受賞しデビュー。今年1月、樺太を舞台に帝国主義と近

若松友保(101) 国分清水1の17の34
【始良市17日】
戸島シツエ(92) 住吉527
【志布志市17日】
久留直温(61) 志布志町帖8259の1
北之園スミ(96) 松山町新橋72の9

川越さんが鹿児島を訪れるのは受賞後初めて。原口泉卓立図書館長と対談する形で両作品に触れ、「樺山久高の人生が構想にぴたり合った。彼に出会わなければ書けなかった」などと語った。

多様な文化がせめぎ合う小説の世界観について語る川越宗一さん17日、鹿児島市のかしま県民交流センター

「熱源」は視点人物の言葉を意識して書いた。地の言葉は自分が所属する文化の象徴。関西で育ったが、錦江町で聞く不思議な言葉のリズムが自分の体にも流れている」などと語った。

会場には200人が訪れ「熱源」の終盤部分をもっと読みたかった「作品の映像化を」などと感想を寄せた。講演に先立ち、伊集院高校放送部の生徒が海音寺潮五郎の「史伝 西郷隆盛」を朗読

○佳き時間を過ごされ羨ましい限りです

海音寺潮五郎については、鹿児島出身の作家ではなく、文豪としてはいかがでしょうか？

海音寺潮五郎は、歴史小説について脚色はよいが史実を変えることには、よしとしていなかったように思いますが何？=====株式会社エムエフアイ 西山 和宏

○そうですね。私は海音寺潮五郎作品は西郷や大久保関連と「武将列伝(江戸編)」くらいしか読んでいないのでいろいろ言える立場ではありません。

ただ、「武将列伝」の「解説に代えて」をあの司馬遼太郎が書いているのですが、その中に「私はかねて露伴に関心があるが、かならずしもその史伝小説(『頼朝』『平将門』『為朝』『蒲生氏郷』『武田信玄』など)に、海音寺氏の史伝ほどの驚きを感じることにはできない」と書いています。

そのことは、西山さんの言葉のとおり史実を変えることはなかったという大きな証でしょう。

海音寺潮五郎の文豪としての評価も私には何とも難しいですが、永年のわたり「直木賞」の選考委員を務められたこと、また前記のように「史伝小説」に評価が高かったこと、なお海音寺自身が第3回の直木賞受賞者であることなどを考えると文豪そのものと言っていいように思います。

クマモト タツオ

10月19日

○諸国巡検使

東映の時代劇に登場したのかもしれないが観た記憶は残っていない
随分と懇ろに葬られたようですね

徳川の治世は意外とよくいい加減な時代劇に登場する悪代官はいなかったそうです

代官は無理をしなくても請け負ったよりも多くの年貢収入があったりして、結構裕福であったようです
近年、水害で堤防が切れることがあります江戸時代は河川敷の農地は年貢が免除されていたため、農民が普段から管理維持に努めたようです。昔は良かったのです！=====西山 和宏

○昔「巡見使」という役があったことを知りなるほどそういうものがあったのかと思いながら、現代ならどの役職に相当するのか考えてみました。

検査、監査どちらもたくさんの国や地方自治体に機関があります。昔は水戸黄門もそうだったのかな？（爆）
強いて言えば国にある諸部門の監査機関に近いのかなと・・・。

私の経験で言えば、銀行には大蔵省から熊本財務局が来ていました。銀行本部に入って幾つかの支店まで臨店にきます。

小倉支店の貸付係のときに臨店にきましたが、日常の仕事が手につかないくらい次々に古い伝票を持ってくるように言われたり、貸付物件の火災保険の期日超過分はないかなど調べます。（古市さんが詳しいでしょう）

クマモト タツオ

○10月20日 『木村美子さんの全快（中半）祝いの会が木村宅にてありました。』



○木村さんは見たところすっかり元気になりましたね。良かったです。永留先生はじめ懐かしい顔を久しぶりに拝顔しました。こうしていろいろなグループで集まったりで、八期生まだまだ意気軒昂ですね。嬉しいことです。クマモト
○皆様 いい笑顔です^^

配信感謝です。いよいよ秋 本番 健康第一ですね。^^ 長崎 諫早 森永

○本当に 良かったです

もうすぐ バースデーですよね ♡マーコより

○永留さんに、善ちゃん美女三人は存じ上げませんがお元気そうで 大変結構で~す！

10月25日仲間より

○鹿児島4人の皆さんへ

佐土原城跡、そして都城巡りは無事で終わられましたか？

こちら全て参入できないまま すみません。

永野さん 珍味黒にんにくおいしいです。

鶴松館での photo2 枚添付します。

○大石より仲間さんへ

思い出多い日向の旅が終わりました。いい写真をありがとうございます。いつか一緒に旅をしたいですね。

奥様お大事にしてください。



●クマタツさんから仲間くんへ

仲間さん 昨日・今日楽しい宮崎の旅ができました。

仲間さんには奥様の看病などで大変お忙しい中、私たち四人組を迎えていただいた上に佐土原までお送りいただきありがとうございました。

二日とも好天に恵まれ宮崎の青い空、美味しい空気、おいしい郷土料理、宮崎の歴史を満喫することができました。

また、いいもののプレゼントをいただき、四人で楽しむことでした。ありがとうございました。

どうか奥様お大事になさってください。、奥様にもよろしくお伝えください。

今度は鹿児島でお会いしましょう。

クマモト タツオ

●森くんから仲間さんへ

この度は何かと大変なお世話いただき誠にありがとうございました。

仲間さんとはえびの繋がりでご縁がありなお一層親近感がわきました。

一日も早い奥様のご快癒をお祈りいたしますとともにご自身もお身体に十分注意されてお過ごしいただきますようお願いいたします。鹿児島でお会いできるのを楽しみにしています。森 繁

●和枝さんから宮崎歴史探訪をかえりみて

八期の五人の仲間達と歴史探訪とても有意義でした。歴史探訪をしながらウォークラリー👩
80台の仲間と見えぬくらい、澆刺とした行動...皆さんステキな八期生...若き玉龍を感じ...まだまだいけると感じました
ファイト私も一緒にさせて貰い皆様からパーをもらいました^o^ありがとうございました。

中間さんお逢い出来て、嬉しいでした一駅まで、お迎えに来てくださり。佐土原まで送って頂き、有難う御座いました。
私もここ2年くらい、骨折したり脊柱管狭窄症などで悩んできましたが回復してきております。基礎疾患かかえながら前
向きにいきたいです^o^奥様もゆっくりあせらず療養してくださいね。頑張ってください

永野和枝

●森くんのお母様の御親戚で映画監督 故黒木和雄の弟さん 横山陽二さま宅を旅の最後に訪ねました、

○せっかくお出でになったのに十分なおもてなしが出来ず申し訳ありませんでした。

その上いろいろとお土産まで頂戴し恐縮いたしました。ありがとうございました。

またどうぞ皆様でお出で下さるのをお待ちしております。

叔母様にいただいた軽羹を長寿にあやかろうと大事にいただいているとお伝えください。

奥様によろしく。向寒の折ご自愛ください。 横山

○森くんから横山氏へ

今回の旅行の締めくりに横山邸を訪問出来て皆さん満足して帰路につきました。

特に壁いっぱい積まれた書籍に全員びっくりし帰りの車内でも感嘆の声を上げていました。また貴重な和雄監督のビデオも見る事ができて満足していましたよ。

帰りにはお土産までいただき聖子さんには駅まで送っていただき誠にありがとうございました。

帰宅後早速母に陽二さんの写真とお土産のお茶を見せてあげ方でした。よろしくとことです。

いよいよ年末に向かいますがお二人そろってお元気にお過ごしいただきますよう祈念してお礼の挨拶とさせていただきます。

追記:当初お土産にさつま揚げを持参しようと皆で相談していたのですが出発時中央駅内の土産店が開いておらずやむ
なく駅前のかすたどんになってしまいました。

年末にはさつま揚げをお送りいたしますので楽しみにお待ちください。繁

○本田様

秋晴れの心地よい季節、念願だった日向の地に家久・豊久親子の居城跡や庄内の乱のあった都城市を
列車を利用してのんびり旅をして来ました。佐土原鶴松館では本田さんの名前を出したら受付にいた
館のみなさんが「皆さんのことは昨年から気にしてお待ちしていました」と感じ良い対応をしていただき案内
はもちろんマイカーで市内案内までしていただき感謝感激しました。

ありがとうございました。

本のさわりだけ予告編動画を作りました。

○大石 慶二 様、(隈元 達雄)様 大石さんはじめ皆さんが、佐土原地区へお出かけになったことは、大戸さん
からの電話で知っていました。秋腫れの宮崎路、佐土原、都城などを探訪された事、何よりでした。 前もって、
お知らせいただければ、佐土原に限らず、都城でも歴史愛好家の詳しい案内人を紹介できたのですが....! ?
都城に限らずに、小林の今春、永吉南郷会が建立した、関ヶ原合戦後の島津豊久が亡くなったことで、佐土原から永
吉に島津豊久の家臣団の一部[約 120家族]が、小林。堤地区に住み着き、永吉島津家の「飛び地」としての石碑があり、
そこに、小林市当局と交渉して、その石碑の案愛版を永石南郷」会の名前で今春、新設しました。

都城の島津家屋敷館等も見学されたでしょうが、都城の城址の歴史資料館なども見学されましたか? これらを含
めて、地元の歴史愛好家である陣さんなどに、案内をお願いすれば、都城・小林等も史蹟の豊富な所ですので、より充

実した歴史探訪ができたのではないかと思います。

次に機会が」ありましたら、ご連絡下さい。 お疲れ様でした！！ 2023.10.26、 本田 哲郎

○本田 哲郎さま

大石くんの予告編の通り宮崎の皆さんに大変お世話になりました。

特に「松鶴館ガイドの会」の大戸建史さまには半日以上のご案内や車まで出していただき本当にありがたいことでした。

念願の佐土原城跡や天昌寺など訪ねることができて感激の二日間でした。

11月には豊久公のお祭りに日置の鉄砲隊などが見えるということで楽しみにされています。

拙ブログにもまた少しずつ書いていこうと思っています。

遅くなりましたが、とりあえずお礼申し上げます。

隈元 達雄

○横山陽二様より

わざわざメールをいただき恐縮しました。十分なおもてなしもできず申し訳ありません。

またどうぞ機会があればお寄りいただければ幸いです。向寒のみぎりご自愛ください。

森くんから秋山信夫(えびの市)へ

○24日～25日の1泊2日で例のメンバー4人で日向路の島津を訪ねるツアーを計画し実行してきました。

今回はJRを利用して宮崎駅からは宮崎在住の同窓生の車で島津佐土原城跡鶴松館に向かいました。この同窓生は中間という名前で出身が飯野とのことで秋丸次朗さんのことをよく知っておりびっくりしました。父上がえびの市長をしていたことがあるとのことでした。

鶴松館ではガイドの方に館内はもとより、よっぱど暇なのか自分の車で市内の名所まで案内してもらいました。

その後宮交バスで宮崎駅前まで戻りリッチモンドホテルに泊まり、夜は橋通りの「あっぱれ」という食堂で郷土料理を頂きました。

翌日は再びJRで西都城にて下車、都城城跡の歴史資料館に行きましたが資料入れ替えのため休館中で城から市内の眺望だけを楽しんで島津屋敷にタクシーで向かい屋敷内にあるレストランでカレーライスを食べた後ガイドの案内で館内を見て回りましたが。昭和48年の全国植樹祭が小林市で開催されたとき来宮された昭和天皇后が宿泊されたとき増築された部屋が当時のまま残されており、天皇夫妻が入浴された大理石の浴槽がそれ以降1回も使用されることなく保存されていることに驚きました。そのあとここから歩いて2～3分のところにある横山陽二さん宅を訪問し黒木和雄監督に関するビデオなど鑑賞して17時15分のJRに乗るため聖子さんに車で送ってもらい夕方無事帰宅することが出来ました。

2日間毎日1万歩以上歩いたので疲れました。

※添付写真の鶴松館前で撮った写真の中で右端が中間君です。

もう一枚は陽二さんの書斎で撮ったもので壁いっぱいの文庫本の多さに一同びっくりしました。



○大石より森・隈元くんへ

【～祝・開通「甑大橋」～絶景といわれる甑島2日間ツアーのご案内】

みなさま、こんにちは(smile)

Go To トラベルキャンペーン対象1泊2日ツアーのご案内です(shiny)

今年8月に甑大橋が開通し、上甑エリアと下甑エリアが陸路で繋がりました(glad)

それを記念して今回、11/15(日)出発の島内観光コース、11/26(木)出発の島内観光+トレッキングコースの2つの日程でツアーを企画しました(rock)各日14名限定の募集です(dash)

過ごしやすい秋の季節に、絶景といわれる甑島を旅してみませんか(smile)?

ツアーの詳細はこちらから▼

<https://www.irkyushu.co.jp/ryoko/gotocp2020/>

○結論は、JRへ電話で問い合わせたところ3日で売り切れたそうです。

○西山さん

こんにちは

あなたのメールを見るのも楽しみにしております。

沖縄から見ると 日本内地の人々から さげすまれていたということも分かっていたようです。

懐かしい話が 聞けました。

南アフリカに ビジネス出張で 80年代はじめ 2回ほど 行ったことがあります。 白人のおばさんに じろっと 見られますが 言われるように 名譽白人扱いでした。

バスは カラーではないところ、白人席に座ることが出来ました。

ニューヨーク市 ロングアイランド フラッシングには 韓国人のお店が多くあり 日本食料品も扱っているお店も多く 散髪屋も韓国人が多かったです。 商売がうまかったこと 記憶しています。

(1984年から1988年まで ベイサイド に 4年半 住んでいました)

80年代は 日本がまだまだ 元気なころ ジャパン アズ ナンバーワン と言っていたころですが

その後 85年ごろから アメリカ の繊維、通信機器、自動車業界は悲鳴あげたおり、半導体含め

反撃 厳しい規制が始まり、為替も 150円近辺まで 円高 日本の産業界も いばらの道を 歩むことになったように記憶しています。

今、米中の 経済戦争でたいへんです。 30年ごとに 起こっているような気がします。

木場 祥雄

○大石より木場くんへ 10月30日

木場くんの四十代(1980年代)はグローバルな活躍(人生)をされてたのですね。

「我が人生に悔いなし」じゃないですか？ 貴兄とは何度も八期旅しましたが、ゆっくり木場人生を聞くチャンスを逸したことを悔います。

文章ででも軌跡を読んで見たいです。 大石

○木場さん 10月30日

良き時代に米国暮らし、プラザ合意で円高進行のころであったでしょうか？

円高は寿司屋の海苔を山本山からニコニコ海苔に代えさせた。

お金儲けに懸命な韓国人

米国の韓国レストランで食事をすませタクシーを呼んでくれると頼むと私がホテルまで送りますと言う。 もちろん、有料で. . . .

サンフランシスコのプルコギのオーナーは、従業員が素早く動き回るようにスニーカーを履かせていた。 =====西山 和宏

○天下人たちの夢 11・・・切り抜きは添付します。

家康－秀忠－忠長そして家光、 大石

ここに書かれている史実の裏側にはいろいろな「へえー」があったことでしょう🤔

○10月30日

駿河大納言忠直卿、春日局のせいで將軍後継者になれなかったため、あまり幸せな一生ではなかった。
忠直卿の忘れ形見と称される松平長七郎は実在だか架空だか曖昧だそうだがドラマなどでは父親似の男ぶりのよい主役として登場していた。 西山

○クマタツより

徳川家康以来の徳川家の願いであった「天皇家に血を入れる」ということは、うまく運んだのですが時の運あらず潰えてしまったのですね。

島津家(昭和天皇の皇后・香淳皇后は島津忠義の孫？)みたいな例はありますが、徳川家の和子以外に直接大名家の娘が天皇家に嫁いだことはあるのでしょうか。

宮崎の旅、3回目をブログにアップしました。

<https://plaza.rakuten.co.jp/kumatake123/>

○和子の入内で織田の血が天皇家に入ったと思っていましたがそうではなかった。
江戸時代以降、この他に入内はないと思います。=====西山 和宏

○今月はここで終わります。 大石

今から31日午後12時30分ですが、県民交流センターへ知人の講演会に出席してきます。